

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	病院群輪番制病院運営補助事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	保健福祉部	課等名	保健課		包含する細々目	1	4	1	1	15	1	32,550
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり											
施策	32 医療の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要						
		事業期間	年度～	年度	関連計画 条例等							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	郡市民 受入れ医療機関	飯伊15市町村の合計人口	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			177000	177000	23年度以前に終了は終了年度とする	
		輪番医療機関数(飯田下伊那地区)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			8	8		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
急病になった時、医療がスムーズに受けられる。	輪番当番医療機関数(下伊那郡)	18目標	2	最終目標		
		18実績	2	19目標	2	↑
	23目標	2	23実績		最終目標達成年度	
	輪番当番医療機関数(飯田市)	18目標	6	最終目標		
		18実績	6	19目標	6	↑
		23目標	6	23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値	
	救急医療体制の一貫として、休日・夜間・祝祭日の重篤な患者(第二次医療)対応として8医療機関(内、郡では2医療機関)が当番で診療対応している。全体計画は地区包括医療協議会で調整策定され、15市町村の負担金により運営している。	18年度の実績	休日・夜間・祝祭日において重篤な急病人の受け入れを8医療機関(内、郡では2医療機関)で実施	輪番実施医療機関数(医療機関)	8
		19年度計画	休日・夜間・祝祭日において重篤な急病人の受け入れを8医療機関(内、郡では2医療機関)で実施	輪番実施医療機関数(医療機関)	8

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金	0	0
	起債		
	その他	7,796	7,939
一般財源	24,579	24,611	
事業費計(A)	32,375	32,550	
人件費	正規職員所要時間	18年度 80	19年度 80
	臨時職員等所要時間	32	32
	人件費計(B)	320	320
	トータルコストA+B	32,695	32,870

特定財源内訳や補足事項
 医療施設運営費補助金及び公的医療機関等特殊診療部門運営費補助金 補助基本額28,210,000円 補助率2/3
 17年度より一般財源化 その他町村負担金

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値				
	休日・夜間・祝祭日に重篤な怪我や病気に見舞われた時、受け入れ医療機関があるため、安心した生活ができる。また、医療が必要な人が症状に対応した医療が受けられる。	必要な医療が受けられていると感じる市民の割合。	現状値	75.8	19実績		
			20実績		21実績		
			22実績		23目標	80	
			現状値		19実績		
			20実績		21実績		
		22実績		23目標			

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>第二次医療(重篤な急病人)の受け入れとして病院群輪番制が昭和52年(昭和52年度までは事業の有無を確認)頃から始まる。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>一次・二次共通であるが、小児科等の専門医師不足に加え、一次医療、二次医療体制に対する理解不足等により、現状体制の維持が困難になっている。(平成17年度に1病院が臨番体制から脱退。)平成17年度から一般財源化(税源移譲)となる。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>大きな病院に、一次・二次医療とも集中する傾向があるため、待ち時間が長い。医師からは、一次・二次のすみわけのための周知の必要性が言われている。輪番日の医療機関に患者が集中する傾向がある。</p>
--	---	--

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) 結びつく (その理由)</p> <p>重篤な患者が出た場合、受け入れ医療機関が確保されているため、スムーズな対応が出来る。</p>	有効性評価	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) 余地がない (その理由)</p> <p>現状では医師不足などにより増加の見込みがいため、輪番制病院を増やすことは不可。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>対象が郡市民、医師不足の中、対象のもう一つである受け入れ医療機関は現在の7病院(郡・市)であり、現状を維持していくことが必要なことである。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) 影響あり (その理由)</p> <p>急に重篤の患者が出た場合、輪番体制をとっている病院へ迅速に搬送できなくなる。(受け入れ先が遠方になる可能性がある。)また、廃止、休止により病院数が減となることが予想され、残った病院(輪番を続ける病院)の負担が増大する。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>今のところ8医療機関で二次医療に対応できている。急病になった時、医療が迅速に受けられる。</p>		<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)</p> <p>輪番でない比較的大きな医療機関で土・日曜日営業しているところもあるが、病院運営上の関係と思われるため、ここでは類似事業はない。</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？</p>	<p>(評価) 必要ある (その理由)</p> <p>日赤病院(松川町)・厚生病院(高森町)があり、広域的関連があるため、各市町村の負担金で包括医療協議会が運営しているため、市民への医療提供であり、広域的要求があるため。</p>		<p>効率性評価</p> <p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) 不可能 (その理由)</p> <p>当番日に待機する医療スタッフは必要であるが、事業費を下げると、病院側スタッフの確保が出来なくなる。</p>
			<p>公平性評価</p> <p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>郡市民 各市町村負担金で運営。基本的な郡市民の安全を確保するものである。</p>	

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 → 具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>当面現状維持だが、医師不足の中での運営体制について、根本的な検討が必要。</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>なし</p>
---	---

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

<p>施策マネジメント会議</p>	<p>Seeの記載部分を詳しく記入のこと。</p>
<p>施策評価会議</p>	<p>1次医療と2次医療の棲み分けを明確にする必要がある。市民への理解も深めるべき。現状維持が困難になる可能性あり。「施策を取り巻く状況の変化」欄にも課題を明確に記載する必要がある。特に小児科は症状の軽重が(親に)分かりにくいためどうしても市立病院などの医療機関へ行く傾向がある。</p>
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	